

第3学年 国語科学習指導案

平成29年12月8日(金)3時間目

場所 3年教室

指導者 担任 学校司書

1 単元名 はたらく犬について調べよう
教材名「もうどう犬の訓練」(東京書籍 3年下)

2 単元の目標

○働く犬について関心を持ち、いろいろな資料を進んで読み、調べようとする。

(国語への関心・意欲・態度)

○目的に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、書かれている内容を要約することができる。

(読む能力(1)イエカ)

○指示語や接続語を手掛かりに文や段落相互の関係をとらえて、文章を読むことができる。

(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(ク))

3 本単元でつきたい情報活用能力

I 課題設定・学習計画

ウ 学習テーマの選択

II 情報の収集

ヨ 情報の要約の仕方

III 情報の整理・まとめ

オ 様々なまとめ方を知り、選択する cリーフレット

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
・働く犬について関心を持ち、いろいろな資料を進んで読み、調べようとしている。	・盲導犬の訓練の様子を、中心となる語や文に注目して読んでいる。 ・大事な言葉や文を見つけながら読み、書かれている内容を要約している。 ・働く犬についてもっと詳しく知りたいと思ったことを調べるために、内容が関連している他の本を選んで読んでいる。	・文章を読み、指示語や接続語の役割を理解している。

5 単元設定の理由

(1) 児童について

(省略)

(2) 教材及び単元について

本単元の重点指導事項は、学習指導要領における C 読む(1)エ「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」である。児童はこれまで、文章の内容を読み取るうえで、だいたいな言葉に着目して読むことを学習してきた。そのうえでさらに、目的や必要に応じて情報を収集し、内容を短くまとめて活用する力をつけることが重要となってくる。そこで、本単元では働く犬について調べたことをリーフレットにまとめて紹介する活動を通して、だいたいな言葉や文を見つけながら読み、書かれている内容を要約することができることをねらいとした。

本教材「もうどう犬の訓練」は、もうどう犬の定義や訓練の段階などを順序立てて説明した文章で

ある。文章の構成は、はじめ（もうどう犬の定義）、中（しつけ・訓練の様子）、終わり（まとめ）となっており、これまで学習してきた説明文と同じような構成であるため、見通しをもちながら学習を進めていけると考える。また中の部分では、「1歳になると」「さいしょは」「次は」「仕上げの1か月」といった順序や時期を表す言葉を使って、どのような訓練が行われるか段階を追って説明している。訓練の内容が一文で書かれ、具体的に実例が述べられているので、要点や細かい点に注意しながら読んでいきやすく、段落ごとの内容をとらえやすい。そのため、要約を初めて学習する児童に適した教材文であると考えられる。

本単元では、教材文の読み取りの学習後に、「はたらく犬リーフレット」を作成し、本から調べたことを紹介する活動を行う。リーフレットを作成するという事は、限られた紙面の中で、目的に応じてどの内容をどのようにまとめるかを考え、だいたいな言葉や文を見つけて要約することが必要となる。活動をすすめるにあたっては、働く犬について、誰に何を紹介したいのかを明確にさせることで、内容を主体的に読み、目的に応じた要約の力を身につけることができるようにしたい。また、読書に関心が高い本学級の児童にとって、興味をもった働く犬について調べて紹介する活動は魅力的であり、図書や資料を活用して意欲的に学習することができると思う。

(3) 指導について

第一次の単元の導入にあたって、単元全体を通して児童が意欲的に、かつ持続的に活動に取り組むことができるように、「はたらく犬リーフレット」を作るという言語活動を行うことを児童に知らせる。教師が作ったリーフレットを見せることで、自分も作ってみたいという気持ちを高めたりイメージを持たせたりすることで、学習に見通しをもって取り組むことができると思う。また、ペットと働く犬との違いを考えたり、もうどう犬について知っていることや思っていることを引き出したりすることで、より教材文に関心をもって読み進めていけるようにしたい。調べ学習の際に使う働く犬に関する図書は、学校司書と共に選書しておく。そしてブックトークにより紹介してもらうことで、単元の始めから並行読書を行い、働く犬に関する視野を広げたり興味・関心を高めたりすることにつなげていきたい。

第二次では、教材文をはじめ、中、終わりに分け、文章全体の構成をつかむ。その後、「人の言うことにしたがう訓練」「人を安全に導く訓練」「もうどう犬にふさわしい心がまえ」「訓練の仕上げ」「もうどう犬としてのくらし」について要約をする。児童にとっては初めての要約学習となるため、要約の手引き書を用意して、手順やポイントとなる事項を確かめながら学習を進めていけるようにしたい。その際、「もうどう犬とは、どのような犬か」「最初の訓練では、どんなことをするのか」といった読みの手がかりとなる問いに対する答えを教材文から要約してまとめるという流れで行う。自分が大事だと思う言葉や文に線を引いたり、必要のない部分は削ったり、言葉を書き加えたりしながら読んでいき、ワークシートに要約させていく。繰り返し出てくる言葉や接続語や指示語、段落のつながりを考えたりするうえで大切な言葉について意識しながら読み取ることで、要約する力が身につくようにしていきたい。

第三次では、教材文で学んだ要約の仕方を一般図書での学習に生かし、働く犬について知りたい事柄を調べてリーフレットにまとめる活動を行う。本時は本から調べて書き出した情報を、分かりやすく要約してまとめる学習にあたる。だいたいな言葉や文を友だちと確かめ合いをすることで、個人で要約していけるようにしたい。作成した「はたらく犬リーフレット」は、友だち同士で読み合い、感想を交流する。また、学校図書館にも展示することとし、読み手を意識させ、目的を感じながら学習を進めていくようにしたい。

6 単元の指導計画と評価規準（全12時間）

次	時	おもな学習活動	評価規準	学校図書館の活用
一	1	○学習の見通しをもつ。 ・働く犬やもうどう犬について知っていることを話し合う。 ・リーフレットのモデルを見て、学習の見通しをもつ。 ・働く犬についての本を紹介してもらう。	・働く犬に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 【関】(発言・観察)	・図書の紹介(学校司書) ・リーフレットの特徴
二	2	○教材文を読み、内容を要約してリーフレット	・だいたいな言葉や文を手が	

並行

	7 6	<p>ットにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文を「はじめ」「中」「終わり」に分け、大まかな文章構成をつかむ。 ・リーフレットの形式やそれぞれのページに各内容を大まかに考える。 ・訓練の順序や、犬の特性ともうどう犬の仕事との関係を押さえながら、もうどう犬の訓練の様子を読み取る。 ・段落のまとまりごとに、文章の要点や細かい点に注目し、内容を分かりやすく要約してリーフレットにまとめる。 	<p>かりに、文章の組み立てと、もうどう犬の定義や訓練の内容を読み取っている。</p> <p>【読】(発言・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の要点や細かい点に注意し、言葉を補ったり書き換えたりしながら内容を要約してまとめている。 <p>【読】(ワークシート・リーフレット)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文を読んで、指示語や接続語の役割を理解している。 <p>【言】(発言・ワークシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・要約の仕方
三	7 12	<ul style="list-style-type: none"> ○働く犬について知りたいと思ったことを、図書を読んで調べる。 ・働く犬について調べたいと思ったことを話し合い、課題を決める。 ・調べて分かったことを書き出す。 ○調べたことを要約してリーフレットを作り上げる。 ・課題についての答えになる部分や、だいじだと思うところを要約し、リーフレットの残りのページを完成させる。 (本時 11/12) ○リーフレットを読み合う。 ・互いのリーフレットを交換して読み合い感想を伝え合う。 ○学習の振り返りをする。 ・要約の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を調べるために、関連する内容の図書を選んで読んでいる。 <p>【読】(観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べて分かったことを整理し、だいじな言葉や文を落とさないように要約している。 <p>【読】(ワークシート・リーフレット)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットを読み合い、分かりやすく要約できているか確かめ合っている。 <p>【読】(発言・ワークシート)</p>	

7 本時の学習

(1) ねらい

○調べた情報の中からだいじな言葉や文を選び、要約することができる。

(2) 展開

時間	学 習 活 動	教師の支援 (☆) と評価 (◎)
0	1 本時の課題と内容を確認する。 調べたことを要約して、「○○犬とはどんな犬？」をまとめよう。	☆前時までの学習を想起し、本時の流れと課題を確かめることで、見通しを持たせる。
5	2 調べたことの中から、だいじな言葉や文を選ぶ。 ・情報カードに書いた文章を音読する。 ・だいじな言葉や文に線を引く。 *答えになることが書いてある文だから線を引こう。 *この文は必要ないな。	☆課題の答えになるような言葉や文を見つけるといった視点を与える。
10	3 調べたことを分かりやすく要約する。 ・言葉を補ったり書き換えたり、つなぎ言葉を使ったり省いたりして短くまとめる。 *ここは詳しく書いてあるけれど、はぶいてもいいな。 *この言葉は変えて分かりやすくしてみよう。	☆要約の仕方を確認する。 ☆要約することが難しい児童には、接続語を入れてつなげてみることを助言する。 ◎だいじな言葉や文を落とさないように要約している。(ワークシート)
25	4 要約した文章を読み合って確かめ合う。 ・隣どうして読み合い、つながりの悪いところや誤字などがないか確認し合う。 ・いいと思ったところを伝える。	☆線を引いたところが分かりやすくまとめられているか確かめ合わせ、友達の要約の工夫点に気づくようにする。
30	5 要約した文章を発表する。	☆どのように補ったり書き換えたり、つないだりしたのかを、全体で共有できるようにする。
40	6 学習を振り返る。	☆本時の学習を評価し次時の活動を知らせることで、意欲をつなげるようにする。

(3) 本時の評価

十分満足とされる児童の姿	おおむね満足とされる児童の姿	支援を要する児童への具体的な支援
調べた情報の中からだいじな言葉や文を見つけ、課題の答えになるように、内容を分かりやすく短くまとめている。	調べた情報の中から見つけ出しただいじな言葉や文をつなげて、短くまとめている。	線を引いただいじな言葉や文を確認し、つなぎの言葉を一緒に考えたり示したりする。

(4) 研究の視点

- ・児童の実態に合ったはたらく犬に関する図書資料を選定して利用したことは、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、書かれている内容を要約できるようにするために有効であったか。
- ・「要約の手引き」を用いて学習に取り組んだことは、要約の仕方を身につけることに有効であったか。